TOTO

東陶機器株式会社

【修理を依頼する前に「故障かな？と思ったら」（30・31ページ）をご確認ください。】

修理・取扱いのご相談は
まずお求めの取付店・販売店へ

取付店	〒 印
販売店	電話　－

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は下記TOTO窓口へ

お客様専用窓口

商品のお問い合せは
TOTOお客様相談室へ
0120-03-1010
受付時間：平日　9:00-18:00
土・日・祝日　10:00-18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

補修部品のご購入は
お求め取付工事店
又はTOTOパーツセンターへ
0120-8282-55
受付時間：平日　9:00-18:00
土・日・祝日　10:00-18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

修理のご依頼は
東陶メンテナンス（株）へ
0120-1010-05
受付（年中無休）
受付時間：関東・甲信越地区　8:00-20:00
上記以外の地区　9:00-20:00
訪問修理（年中無休）
営業時間：　9:00-18:00

インターネットホームページ　http://www.toto.co.jp/

RD06166

TOTO

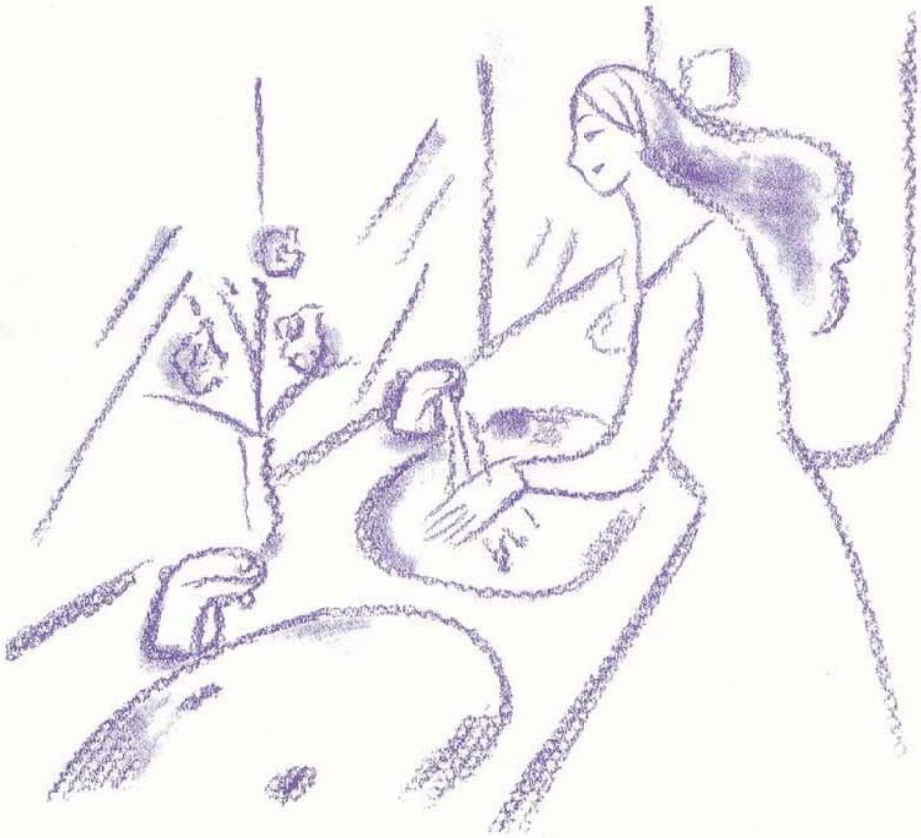
取扱説明書 保証書付

工事店様へのお願い　保証書に、貴店名ならびにお取付日をご記入の上、お客様にお渡しください。

小型電気温水器

湯ぽっと REW一B・D・Eシリーズ

REW06型、REW12型、REW25型
REW30型、REW35型



●このたびは、TOTO 湯ぽっとをお求めいただき、まことにありがとうございました。
●ご使用前にこの説明書と保証書をお読みの上、正しくお使いください。
●この取扱説明書は保証書付ですので、大切に保管し、わからないときは読みかえしてください。

もくじ

お使いになる前に

特に注意していただきたいこと …… 1
各部のなまえ …… 6
・外観 …… 6
・操作部 …… 7
使用前の準備 …… 8

使いかた

お湯の沸かしかた …… 10
お湯の出しかた …… 11
タイマ運転のしかた（タイマ付機種のみ） …… 12
・現在曜日、現在時刻の設定のしかた …… 12
・タイマ設定（番号1）のしかた …… 13
・タイマ設定の変更のしかた …… 15
・タイマ設定の消去のしかた …… 16
・タイマ運転の設定例 …… 17
・タイマ設定内容の確認のしかた …… 19
手動運転のしかた（タイマ付機種のみ） …… 20

お手入れについて

各部のお手入れ …… 21
・逃し弁の作動確認 …… 22
・止水栓フィルターのお手入れ …… 23
・タンク内のお手入れ …… 24
・減圧弁フィルターのお手入れ …… 27
凍結による破損予防について …… 28

故障かな？

故障かな？と思ったら …… 30
・修理を依頼されるまえに …… 30
・つぎのような場合は故障ではありません …… 31
・保証について …… 31
・減圧弁・逃し弁について …… 31
仕様 …… 32
保証書 …… 37

特に注意していただきたいこと

安全上の注意

・・●・●・ 安全のために必ずお守りください ・●・●・・・

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができるように必ず保管してください。
転居される場合は、新しく入居される方が製品を安全にお使いいただくために、この「取扱説明書」を新しく入居される方、又は取次ぎされる方にお渡しください。
この「取扱説明書」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味はつぎのようになっています。内容を確認してから本文をお読みください。

表　示	意　味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示については、つぎのような意味があります。

表　示	意　味
	行ってはいけない「禁止」の内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。
	必ずアース線を接続してください。
	電源プラグをコンセントから抜いてください。
	浴室・シャワー室など水場では使用しないでください。
	接触しないでください。

特に注意していただきたいこと

⚠ 警告

分解禁止	修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 **（感電や火災などの原因になります）**	
水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。 **（感電や故障の原因となります）**	
禁止	機器本体に水をかけないでください。 **（感電や火災などの原因になります）**	
禁止	電源プラグを濡れた手でさわらないでください。 **（感電の原因になります）**	
禁止	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わないでください。 **（火災の原因になります）**	

⚠ 警告

アース接続	万一の感電事故を防止するためアースの接続が必要です。 **（故障や漏電のときに感電するおそれがあります）** 取付けられていない場合は、必ずお取付け工事店又は、販売店に依頼して取付けてください。	
必ず実行	使用する電源、消費電力を本体の銘板で確認し、必ずこれに適した配線をしてください。 **（火災の原因となります）**	
必ず実行	漏電遮断器を取付けてください。 **（感電や火災の原因となります）**	
必ず実行	電源プラグについたホコリは、取除いてください。 **（電源プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）** 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。	
必ず実行	電源プラグをコンセントに差込むときは、根元まで十分差込んでください。 **（火災の原因になります）**	

特に注意していただきたいこと

⚠注意

禁止

タンク内に水がない時は、電源（運転）スイッチを入れないでください。**（空だきとなり故障・事故の原因となります）**
※必ず8ページの【タンクへ水を入れる】の作業を行ってから電源（運転）スイッチを入れてください。

飲料用に用いないでください。
（下痢・腹痛などをおこす場合があります）

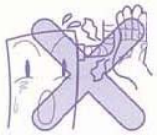
連結管に無理な力や衝撃を加えないでください。
（漏水の原因となります）

水道水以外は使用しないでください。
（井戸水等を使用すると腐食等により漏水するおそれがあります）

製品に強い力や衝撃を与えないでください。
（故障や水漏れの原因になります）

接触禁止

排水時に熱湯が出るおそれがありますのでお湯に触れないようにしてください。
また、連結管も高温になりますので触らないでください。
（やけどをするおそれがあります）



プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
（思わぬ事故の原因となります）

雷が発生しているときは、電源プラグを抜いてください。
（故障の原因になります）

⚠注意

凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内のお湯を抜いてください。（P28参照）
（凍結により破損し、漏水するおそれがあります）
凍結による破損は、保証期間内でも有料となります。

お湯を出しはじめる時は、必ず水を出しながらお湯を出すようにしてください。
（お湯だけを出すと、熱湯でやけどをしたり、洗面器などが破損するおそれがあります）

- 2ハンドル混合水栓の場合は、まず水側を開けた後に、湯側を開けて温度を調節してください。また、使用後は必ず湯側から閉めてください。（水側を先に閉めると、再使用時に熱湯が出てやけどをするおそれがあります。）
- シングルレバー混合栓の場合は、レバーを一旦水側に回してから、水を出し、その後レバーを湯側に回して、温度を調節してください。
- 自動水栓の場合は、温度調節ハンドルを一旦水（C）側にして水を出し、その後ハンドルを湯（H）側に回し、温度を調節してください。（温調ダイヤル付機種のみ）

必ず実行

月に1回、逃し弁の点検を行ってください。（P22参照）
（逃し弁が作動しないと、タンクに異常な圧力がかかり破損の原因になります）

月に1回、止水栓、減圧弁のフィルターの点検・清掃を行ってください。（P23・27参照）
（フィルターが詰ると、お湯の量が減少したり機器の故障の原因になります）

減圧弁・逃し弁は消耗部品です。必ず定期的に交換してください。（P31参照）
（劣化により機能の低下や水漏れする可能性があり、大きな被害を与えることがあります）

タンク内の水を抜くときは、タンク内のお湯が水になっていることを確かめてから行ってください。
（やけどのおそれがあります）

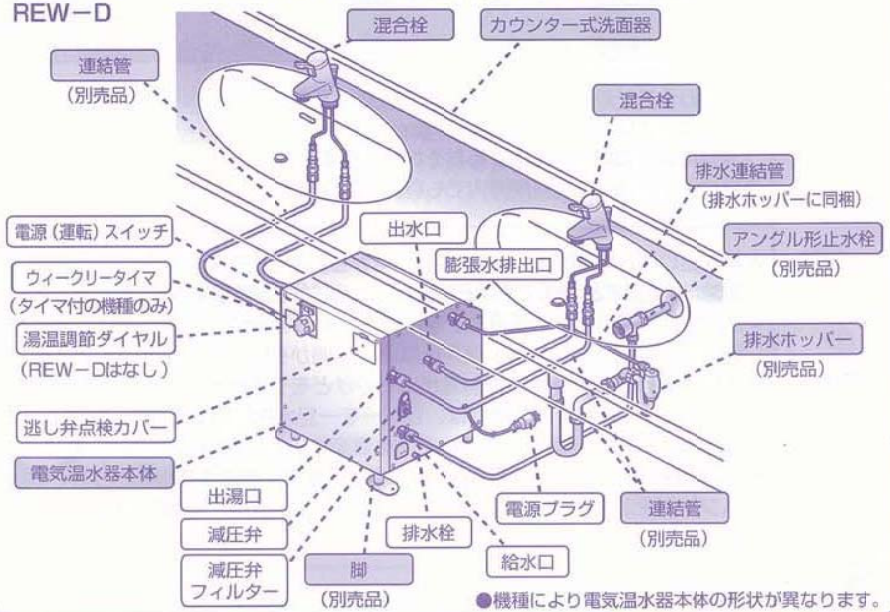
1日に1回配管の周り（キャビネット内、点検口内を含む）を見て水漏れがないか確認してください。
（部品の劣化・摩耗などによる水漏れが発見できず、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります）

各部のなまえ

外　観

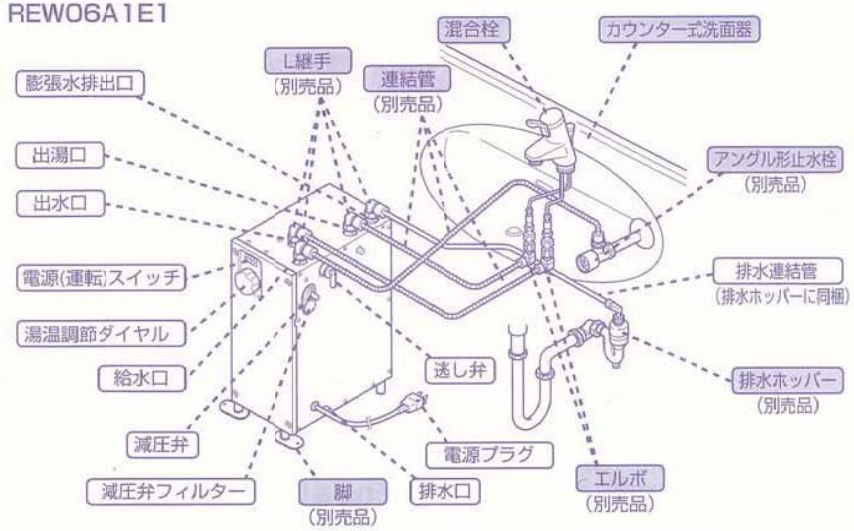
REW−B
REW−D

<2つのシングルレバー混合栓に接続した場合>



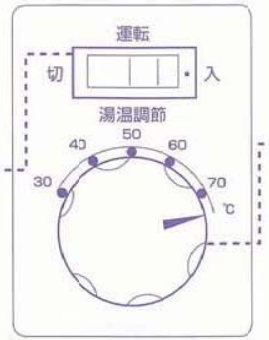
●機種により電気温水器本体の形状が異なります。

REW06A1E1



操 作 部

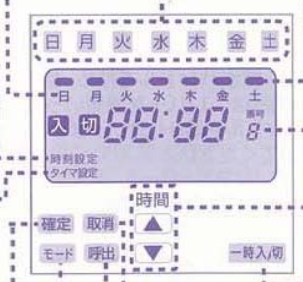
●電源（運転）スイッチ
●湯温調節ダイヤル



電源（運転）スイッチ
電源の入／切を行います。
ヒータ通電中のみランプが点灯します。

湯温調節ダイヤル
湯温調節ダイヤルが有る機種と無い機種があります。
ダイヤルの有無により、機能が異なります。
（P10参照）

●ウィークリータイマ
<ウィークリータイマ付の場合のみ>



現在曜日表示
現在の曜日を表示します。

『曜日』スイッチ
現在の曜日とタイマ運転を行う曜日を設定するときに使用します。

運転曜日表示
運転曜日を表示します。
表示なし：運転休止日

プログラム番号表示
タイマ運転の設定、変更するときにプログラム番号を表示します。

曜日・時刻設定表示
現在曜日・現在時刻を設定するときに表示します。

タイマ設定表示
タイマ動作時刻を設定するときに表示します。

『時間▲▼』スイッチ
設定モード中に時刻を進める、または戻すときに使用します。

『確定』スイッチ
設定モード中のデータを確定させるときに使用します。

『取消』スイッチ
タイマ設定内容を取消すときに使用します。

『モード』スイッチ
現在時刻、タイマ設定時刻を設定、変更するときに使用します。

『呼出』スイッチ
タイマ設定内容を確認するときに使用します。

『一時入／切』スイッチ
手動運転（タイマを使わない場合）を行うときに使用します。

使用前の準備

ご確認ください

●フィルター付の止水栓が取付けられていますか？

※フィルター付の止水栓が取付けられていない場合は、
お取付店、お取扱店又は、東陶メンテナンス（株）
0120−1010−05（フリーダイヤル）にご連絡ください。

タンクへ水を入れる

●つぎの手順でタンクへ水を入れてください。

湯温調節ダイヤル付機種の場合

1 止水栓を開けてください。

2 ・2ハンドル混合栓の場合は、給水ハンドルを閉め、給湯ハンドルを全開にしてください。
・シングルレバー混合栓の場合は、レバーを湯側いっぱいにしてください。
・自動水栓の場合は、温調ハンドルを湯(H)側いっぱいにし、スパウトのセンサー部に手を近づけセンサーを作動させてください。

2ハンドル混合栓の場合

湯側を全開にする

シングルレバー混合栓の場合

湯側にする

自動水栓の場合

3 水栓より水が出はじめると、タンクは満水です。
※配管やタンク内の汚れを取除くため、
5〜6分程度流してください。

湯温調節ダイヤルなし機種の場合

1 止水栓を開けてください。（前ページ参照）

2 ・2ハンドル混合栓の場合は、給水ハンドルを閉め、給湯ハンドルを全開にしてください。
・シングルレバー混合栓の場合は、レバーを湯側いっぱいにしてください。
・自動水栓の場合は、スパウトのセンサー部に手を近づけセンサーを作動させてください。

2ハンドル混合栓の場合

湯側を全開にする

シングルレバー混合栓の場合

湯側にする

自動水栓の場合

3 タンクが満水になるまでは、上記混合栓や自動水栓より断続的に水が出ます。

4 水の出方が安定してくるとタンクは満水です。
※配管やタンク内の汚れを取除くため、5〜6分程度流してください。

※タンク満水後、水栓を閉めた際、排水ホッパーから水がいつまでも出る場合は工事中、減圧弁に異物がかみ込んだことが考えられます。
このようなときは、お取付店、お取扱店又は東陶メンテナンス㈱にご連絡ください。

タンクを満水にした後に確認してください

連結管接続部などからの水漏れはありませんか？
（給湯ハンドルを止めてから確認してください）

お湯の沸かしかた

1 タイマで運転曜日と時間帯を設定してください。（タイマ付機種のみ）

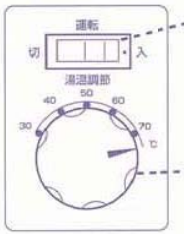
●タイマの初期設定は次のようになっています。

運転曜日：月曜日～土曜日
運転時間：6：30～18：30

※タイマの設定を変更する場合はP12～15の「タイマ運転のしかた」をご参照ください。

2 （湯温調節ダイヤル付機種の場合）

湯温調節ダイヤルで沸かし上げ湯温を設定してください。



電源(運転)スイッチ

電源の入／切を行います。ヒータ通電中のみランプが点灯します。

湯温調節ダイヤル

約30℃～75℃の範囲で湯温の調節ができます。ダイヤルを回して、湯温を調節してください。

●沸かし上げた湯温のまま出湯します。

（湯温調節ダイヤルなし機種の場合）

※沸かし上げ湯温は、約80℃固定です。

●機器本体に内蔵された混合バルブにて沸かし上げた湯と水を混合させ、適温で出湯します。

●水栓から出る温度(出湯温)の目安

給水温	5℃（冬）	15℃（春・秋）	25℃（夏）
出湯温	約35℃	約38℃	約40℃

3 電気温水器本体の電源(運転)スイッチを「入」にしてください。

タイマが運転時間帯の場合及び手動運転中であればランプが点灯し、沸かし上げを開始します。

禁止

タンク内に水がない時は、電源(運転)スイッチを入れないでください。**（空だきとなり故障・事故の原因となります）**

※必ず8ページの【タンクへ水を入れる】の作業を行ってから運転スイッチを入れてください。

4 沸き上がると自動的に通電が止まり、お湯が使える状態になります。

※お湯が沸き上がるとランプは、消灯します。
※湯温が下がると再びヒータに通電され、電源(運転)スイッチのランプが再点灯します。

禁止

飲料用に用いないでください。
（下痢・腹痛などをおこす場合があります）

お湯の出しかた

必ず実行

お湯を出し始める時は、必ず水を出しながら湯を出すようにしてください。
（お湯だけを出すと、熱湯が出てやけどをしたり、洗面器の破損のおそれがあります）

2ハンドル混合栓の場合

2ハンドル混合栓の場合、まず水側を開けた後に、湯側を開けて温度を調整してください。

必ず実行

使用後は必ず湯側から閉めてください。
（水側を先に閉めると、再使用時に熱湯が出てやけどをするおそれがあります）

シングルレバー混合栓の場合

シングルレバー混合栓の場合は、温度調節レバーを水側にして、吐水しながらお湯側にレバーを回し、温度を調節してください。

自動水栓の場合

自動水栓の場合は、温度調節ハンドルを水（C）側にして、吐水しながら、湯（H）側にハンドルを回し、温度を調節してください。

※湯温調節ダイヤルが無いタイプの場合、上記操作は不要です。
※詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

タイマ運転のしかた（タイマ付機種のみ）

現在曜日、現在時刻の設定のしかた

タイマ運転は、お湯を沸かす日（曜日）と時間を設定でき、ご希望の日（曜日）、時間に自動的にお湯を沸かすことができます。

現在曜日を設定する

1 『モード』スイッチを2秒間押し、『時刻設定』表示に切替える。
※曜日が点滅します。

2 『曜日』スイッチを押し、曜日を選択する。
例）月曜日の場合は、月 を押します。

3 『確定』スイッチを押す。
※曜日が確定し、時刻が点滅します。

現在時刻を設定する

4 時間『▲』『▼』で現在時刻に合わせる。
※分の繰上げ、繰下げによる設定で、1分毎に時間が変わります。
スイッチを押しつづけると30分毎にアップダウンができます。

現在曜日、現在時刻の設定を終了する

5 『確定』スイッチを押す。
※時刻が確定し、運転表示に戻ります。

タイマ使用上の注意

- 現在曜日、現在時刻の設定変更後は必ず『確定』スイッチを押して設定を確定させてください。
- 設定中に1分間スイッチ操作がないと運転表示に戻ります。
- 途中で設定を抜けるときは『モード』スイッチを2回押してください。
- 時計は24時間表示です。

タイマ設定（番号1）のしかた

- タイマ運転で動作する時間帯を最大8つ（番号1～8）まで設定できます。
- 番号1の初期設定は、入：月曜日～土曜日　6：30　切：月曜日～土曜日　18：30になっています。
- 動作時刻が設定されていないと ーー：ーー が表示されます。
- 曜日をまたがったり、曜日別の動作時間設定も可能です。

運転開始（タイマ入）時刻を設定する

1 『モード』スイッチを2秒間押し、『時刻設定』モードにし、もう一度『モード』スイッチを押す。
※『タイマ設定』『番号1』『入』が表示され『曜日▬』が点滅します。。

2 『入』にしたい『曜日』スイッチを押す。
※押された曜日▬が点滅します。
ただし、点滅している曜日を押すと選択が解除されます。
例）すでに月～土▬が点滅している時に月を押すと、月▬の点滅が消え、解除されます。

3 『確定』スイッチを押す。
※『曜日▬』が点灯し、『入』時刻が点滅します。

4 時間『▲』、『▼』で設定したい時刻に合わせる。
※分の繰上げ、繰下げによる設定で、1分毎に時間が変わります。
スイッチを押しつづけると30分毎にアップダウンができます。

5 『確定』スイッチを押す。
※『切曜日▬』が点滅します。

次ページへつづく➡

タイマ運転のしかた（タイマ付機種のみ）

タイマ設定（番号1）のしかた

運転終了（タイマ切）時刻を設定する

6 『切』にしたい『曜日』スイッチを押す。
※押された曜日➖が点滅します。
ただし、点滅している曜日を押すと選択が解除されます。
例）すでに月～土➖が点滅している時に月を押すと、月➖の点滅が消え、解除されます。

7 『確定』スイッチを押す。
※「曜日➖」が点灯し、『切』時刻が点滅します。

8 時間『▲』、『▼』で設定したい時刻に合わせる。
※分の繰上げ、繰下げによる設定で、1分毎に時間が変わります。
スイッチを押しつづけると30分毎にアップダウンができます。

9 『確定』スイッチを押す。
※「切」時刻が確定し、番号1が確定します。
番号2の「入」曜日設定に移行します。

更にタイマ設定を行う場合は 2 ～ 9 の手順で設定してください。番号8まで設定できます。

タイマ設定を終了する

10 『モード』スイッチを押す。
※タイマ設定を終了し、運転表示に戻ります。

タイマ設定の変更のしかた

タイマ入切曜日、時刻を変更する

1 『モード』スイッチを2秒間押し、『時刻設定』モードにし、もう一度『モード』スイッチを押す。
※「タイマ設定」「番号1」「入」が表示され「曜日➖」が点滅します。

2 設定変更したい番号、入/切曜日、時刻まで『確定』スイッチを押し、進める。
例）番号1の切曜日を変更する場合は2回押す。

3 曜日の場合は『曜日』スイッチ、時刻の場合は時間『▲』『▼』スイッチで設定したい曜日、時刻に変更します。
（設定方法は『タイマ設定（番号1）のしかた』と同じです。

4 次の番号の入曜日設定になるまで『確定』スイッチを押す。
例）番号1の切曜日を変更する場合は2回押すと番号2の入曜日設定になります。

タイマ設定の変更を終了する

5 『モード』スイッチを押す。
※タイマ設定を終了し、通常運転に戻ります。

タイマ運転のしかた（タイマ付機種のみ）

タイマ設定の消去のしかた

タイマ入切曜日、時刻を消去する

1 『モード』スイッチを2秒間押し、『時刻設定』モードにし、もう一度『モード』スイッチを押す。
※「タイマ設定」『番号1』『入』が表示され『曜日➡』が点滅します。

2 消去したい番号の『入曜日設定』まで『確定』スイッチを押し、進める。
例）番号2を消去する場合は4回押す。

3 『取消』スイッチを押す。
※『入』曜日➡が点滅し、時刻表示が－－：－－になります。

4 『確定』スイッチを押す。
※取消を確定し、次の番号の「入曜日設定」に移行します。

タイマ設定の消去を終了する

5 『モード』スイッチを押す。
※タイマ設定を終了し、通常運転に戻ります。

タイマ運転の設定例

例1：月曜日～土曜日　6：30～18：30入の場合

タイマ入　月～土を選択、6：30
タイマ切　月～土を選択、18：30

●動作パターン

	日	月	火	水	木	金	土
入							
切		■	■	■	■	■	■

●運転表示

例2：月曜日、水曜日、土曜日　6：30～18：30入の場合

タイマ入　月、水、土を選択、6：30
タイマ切　月、水、土を選択、18：30

●動作パターン

	日	月	火	水	木	金	土
入							
切		■		■			■

●運転表示

例3：月曜日～土曜日　18：30～6：30入の場合（最後は日曜日の6：30）

タイマ入　月～土を選択、18：30
タイマ切　火～日を選択、6：30

●動作パターン

	日	月	火	水	木	金	土
入							
切	■		■	■	■	■	■

●運転表示

タイマ運転のしかた（タイマ付機種のみ）

タイマ運転の設定例

例4：月曜日の6：30～18：30のみ切で後は入の場合

タイマ入　月を選択、18：30

タイマ切　月を選択、6：30

●動作パターン

●運転中の表示例

例5：月曜日6：30～金曜日18：30が入の場合

タイマ入　月を選択、6：30

タイマ切　金を選択、18：30

●動作パターン

●運転中の表示例

例6：月曜日6：30～水曜日18：30、金曜日6：30～土曜日18：30が入で後は切の場合

タイマ番号1

タイマ入　月を選択、6：30

タイマ切　水を選択、18：30

タイマ番号2

タイマ入　金を選択、6：30

タイマ切　土を選択、18：30

●動作パターン

●運転中の表示例

タイマ運転の設定例

例7：連続運転する場合

タイマ入　日を選択、0：00

タイマ切　土を選択、23：59

●動作パターン

●運転中の表示例

土曜日の23：59～日曜日の0：00までの1分間は切になります。

その他
- 現在時刻を設定しなおした場合、設定された現在時間がタイマ運転の入時間帯にある場合は入動作を行い、切時間帯にある場合は切動作を行います。
- タイマ設定を行った場合、現在時刻が設定されたタイマ時間の入時間帯にある場合は入動作を行い、切時間帯にある場合は切動作を行います。

タイマ設定内容の確認のしかた

タイマ内容の呼出をする

1 『呼出』スイッチを押す。

※タイマ設定の番号1入の内容が表示されます。
※『呼出』スイッチを押していくと順番に番号1切、番号2入・・・が表示されます。
※設定がない番号は表示されません。

※運転表示に戻す場合は、『呼出』スイッチを2秒間押してください。